

3. 1 小学校 1・2年生 (3) 指導の概略

I. 地震・津波を知る B. 津波の特徴を知る

指導する学年	小学校2年生	指導する時間	算数 長さをはかろう	指導する時数	10～15分
目 標	津波の遡上高さについて知り、津波についての知識を深める。				
使用する資料	【動画-09】50cmの津波の破壊力 【写真-05】1993年北海道南西沖地震による奥尻島の被害 【print-13】津波の破壊力について				

※算数「長さをはかろう」◆長いものの長さのたんい

教科書60ページ ②けいじばんのよこの長さをはかったら、1mのものさしでちょうど3つぶんでした。

けいじばんのよこの長さは何mですか。また、何cmですか。

教科書62ページ「テープものさし」をつくろう



上記の学習を受けて、

1. 導入

(1) 実際の3mの長さのテープを縦にして掲示し、自分の身長と対比させる。

2. 展開

(1) 過去に襲来した津波の高さを紹介し、場所によってとても高くなることを確認する。

- ・三陸地震津波 綾里村(今の船橋市)で21m
- ・北海道南西沖地震 奥尻島 で30m

【写真-05】1993年北海道南西沖地震による奥尻島の被害

(2) 津波注意報で予想される津波の高さ(50cm)は小さいけど、威力は強いことを確認する。

【動画-09】50cmの津波の破壊力 [1:51]

3. まとめ

(1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。

【print-13】津波の破壊力について

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

4. 確認

(1) 「50cmの津波」の破壊力を知ることができたか？

(2) 津波が来たら、早く高いところに避難する必要があることを知ることができたか？

関連する
教科・行事等

【小2算数】かけ算(何倍)
【小3算数】長さ(巻き尺)での指導も可

3. 1 小学校 1・2年生（3） 指導の注意点

1. 導入 — →算数「ながさをはかろう」の単元で。

- (1) 実際に3mの長さのテープを縦にして提示し、自分の身長と対比させる。
→大人の身長を例にして、50cmだとひざ、1mだと腰くらいの高さになることなどをおさえる

2. 展開

- (1) 過去に襲来した津波の高さを紹介し、場所によってとても高くなることを確認する。
・三陸地震津波 綾里村(今の船橋市)21m
・北海道南西沖地震 奥尻島 30m
→写真を見せて、電線に海草がからまっていることを指摘する
→場所によって、津波はとても高くなることを確認する
- (2) 津波注意報で予想される津波の高さ(50cm)は小さいけど、威力は強いことを確認する。
→映像を見て気付いたことを発表してもらう
→発言の中から「50cmの津波でも、家の中がぐちゃぐちゃになってしまうほどの被害になる」ことをおさえる
→津波注意報で、50cmの津波が予想されたとしても、海の近くでは避難する必要があることを確認する



【写真-05】

1993年北海道南西沖地震による奥尻島の被害



【動画-09】[1:51]

50cmの津波の破壊力

3. まとめ

- (1) 学習して気付いたことをプリントに記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。
→発言の中から、「津波から命を守るためには、早く高いところに避難する必要がある」ことをしっかりおさえる